

## CSRへの取り組みの基本的考え方

CSRへの取り組みが、社会の持続可能な発展に寄与するものであり、さらには〈みずほ〉の新たな企業価値の創造と発展を実現する基盤になるとの考えのもと、CSRへの取り組みを企業行動の主軸と位置付けています。

### ■ 〈みずほ〉におけるステークホルダー



### ■ CSRの中長期取り組み方針

#### 社会の持続可能な発展に貢献する ビジネス推進の強化

幅広い金融サービス機能を活かして、中長期的視点から実体経済を支えていくとともに、ステークホルダーの新たな期待に応え、社会の持続可能な発展に貢献するビジネスの推進を強化します。



#### 地域・社会のニーズを踏まえた 社会貢献活動の推進

地域・社会のニーズを踏まえ、経営資源を活かした活動や地域・社会の発展に資する取り組みを推進します。

#### 社会の期待に沿った活動を支える 基盤の強化

広く社会とのコミュニケーションを図り、法令遵守に留まらず、社会の期待を踏まえた活動を組織全体で実践するための基盤を強化します。

## TOPICS

### 本業 農林漁業の成長産業化への取り組み

〈みずほ〉は、農林漁業の成長産業化を日本にとっての内需拡大・国内雇用創出・地域経済活性化等の重要な課題解決の鍵を握る分野と捉え、豊富な投資経験、全国に広がる顧客基盤を活かし、農林漁業の成長産業化をサポートしています。具体的には、みずほ銀行内に設置した「農林漁業6次化支援デスク」を中心に、農林漁業成長産業化支援機構や地域金融機関等と連携し、全国に10を超える「農林漁業6次産業化ファンド」に対する出資・参画、6次産業化に取り組む事業者への複数件の投資を実行しています。

今後も、〈みずほ〉は、「資金供給機能の強化」、「産業知見を活かした政策提言」等幅広いサポートを通じて、日本の農林漁業の成長産業化と地域経済の活性化に貢献していきます。



但馬・養父6次産業化支援ファンド調印式の模様

### 社会貢献 震災復興支援への取り組み 「〈みずほ〉の森プロジェクト」

〈みずほ〉は、東日本大震災からの復興支援に、グループの総力を挙げて取り組んでいます。復興支援活動の一環として、津波で被害を受けた福島県いわき市の海岸防災林の一角を「〈みずほ〉の森」と名付け、グループ社員ボランティアを派遣して、その再生に取り組んでいます。

2013年4月に福島県・いわき市・防災林所有者と協定を結び、約1年半の準備期間を経て、2014年11月には地域の方とともに第1回目の植樹活動を行いました。今後さらに2回の植樹活動を行った後、2018年度まで苗木の保育に取り組めます。

〈みずほ〉は、地域に根ざした被災地支援活動に、継続的に取り組んでいきます。



「〈みずほ〉の森プロジェクト」植樹活動の様相